

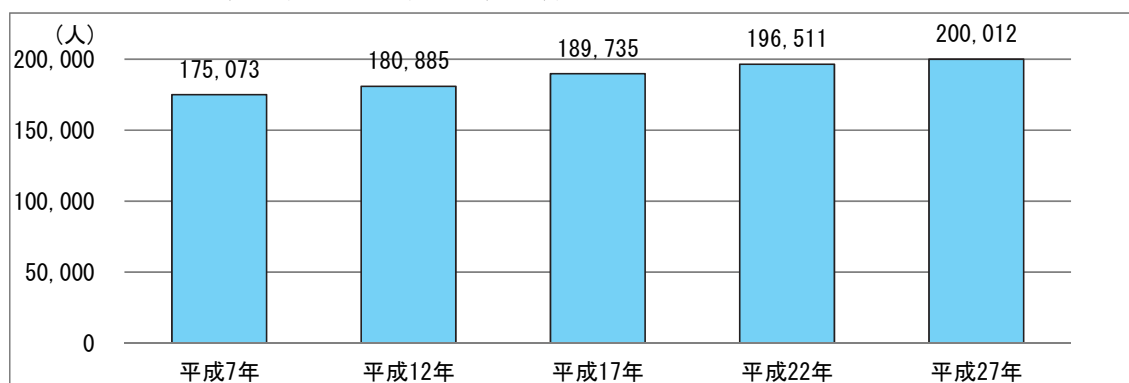
第2章 西東京市の現状

1 人口等の動向

(1) 西東京市の人口年次推移

西東京市の人口は、平成7（1995）年以降、一貫して増加の傾向にあり、平成27（2015）年の国勢調査では20万人を超えています。

図表 2-1 西東京市人口の年次推移と伸び率



出典：国勢調査（平成12（2000）年までの値は、合併前の田無市、保谷市の計）

図表 2-2 （参考）多摩地域の人口上位10市

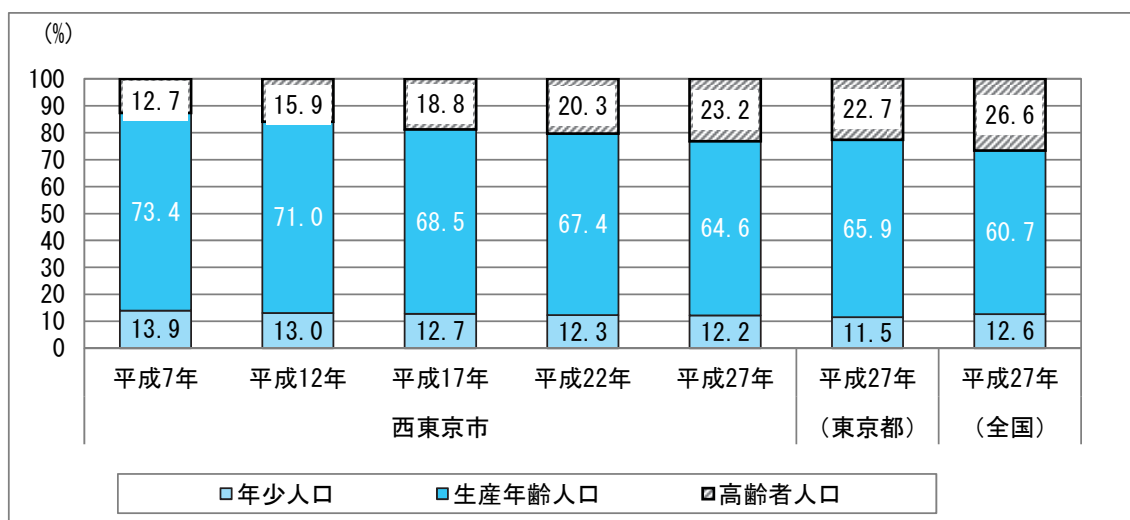
| 市町村名 | 人口（平成27年） |
|------|-----------|
| 八王子市 | 577,513人 |
| 町田市 | 432,348人 |
| 府中市 | 260,274人 |
| 調布市 | 229,061人 |
| 西東京市 | 200,012人 |
| 小平市 | 190,005人 |
| 三鷹市 | 186,936人 |
| 日野市 | 186,283人 |
| 立川市 | 176,295人 |
| 東村山市 | 149,956人 |

出典：国勢調査

(2) 年齢階級別人口構成割合

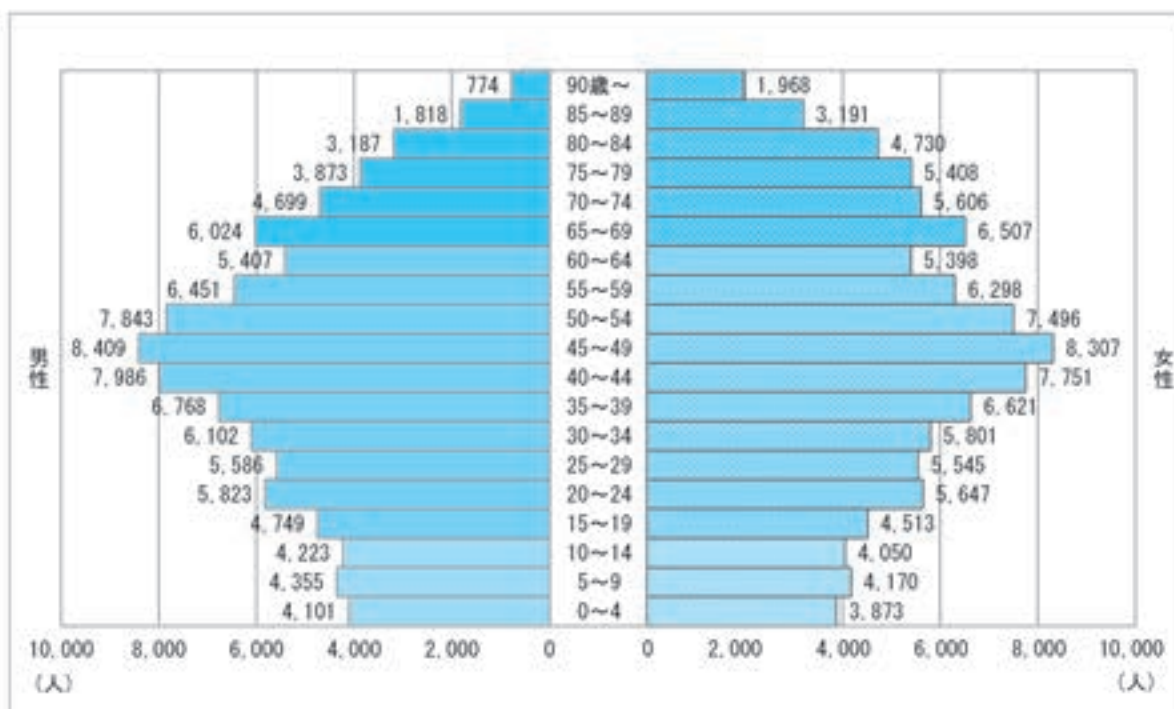
平成 27（2015）年の国勢調査における西東京市の年齢 3 区分別人口構成割合は、0 歳～14 歳の年少人口が 12.2%、15 歳～64 歳の生産年齢人口が 64.6%、65 歳以上の高齢者人口が 23.2%となっています。東京都と比べて高齢者人口、年少人口の割合が若干高いものの、全国よりは低くなっています。

図表 2-3 年齢 3 区分別人口構成割合の推移



出典：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

図表 2-4 年齢階級別人口構成割合



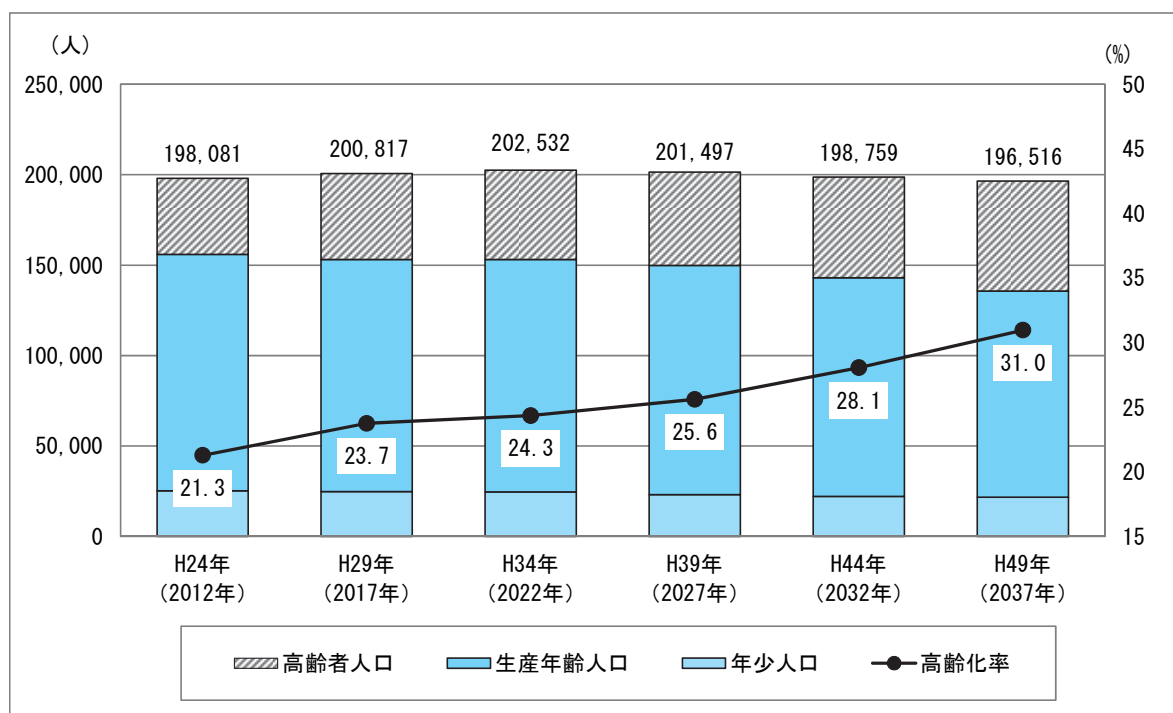
出典：住民基本台帳及び外国人登録（平成 30（2018）年 1 月 1 日現在）

(3) 将来人口推移（3区分別）

西東京市の人口は、平成 34（2022）年までは増加し続けますが、その後は緩やかに減少すると推計されます。

高齢化率は、平成 29（2017）年の 23.7%から平成 39（2027）年には 25.6%、平成 49（2037）年には 31.0%になると見込まれています。

図表 2-5 将来人口推計



出典：西東京市人口推計報告書（平成 29（2017）年）

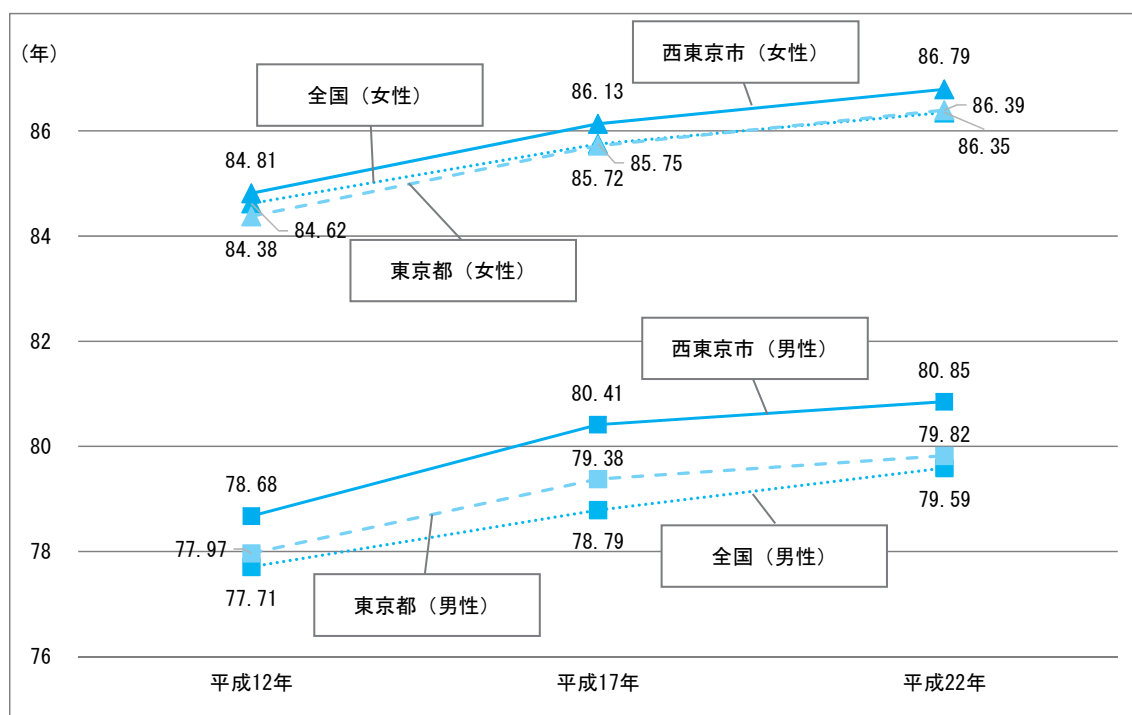
(4) 平均寿命と健康寿命

平成 22 (2010) 年における西東京市の平均寿命は、男性が 80.85 歳、女性が 86.79 歳で、男性は全国より 1.26 歳、東京都より 1.03 歳上回っており、女性は全国、東京都とほぼ等しくなっています。

65 歳健康寿命について、平成 23 (2011) 年から平成 26 (2014) 年の推移をみると、女性の健康寿命 (要支援 1) はやや低下傾向となっています。

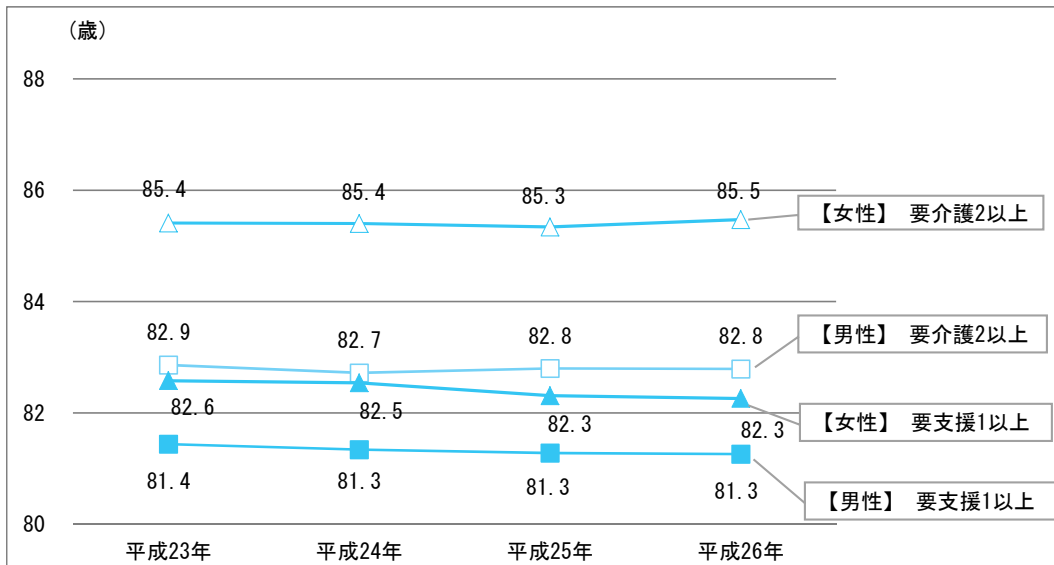
平均障害期間 (要介護 2 以上) をみると、男性で 1.8 年、女性で 4.0 年が要介護期間となっています。

図表 2-6 平均寿命



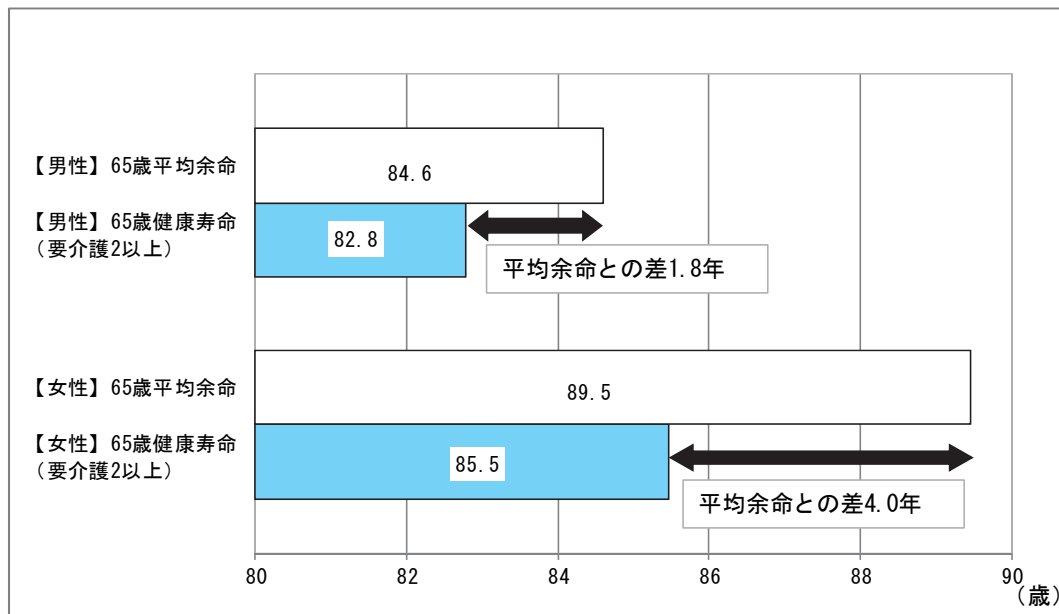
出典：市区町村別生命表、都道府県別生命表 (厚生労働省)

図表 2-7 65 歳健康寿命



出典：北多摩北部保健医療圏保健医療福祉データ集

図表 2-8 平均障害期間



出典：北多摩北部保健医療圏保健医療福祉データ集（平成 28（2016）年版）

◆65 歳健康寿命

65 歳の人が何らかの障害のために日常生活動作が制限されるまでの年齢を平均的に表したもの。
東京都では、「要介護 2 以上」「要支援 1 以上」の 2 パターンで健康寿命を算出している。

◆平均障害期間

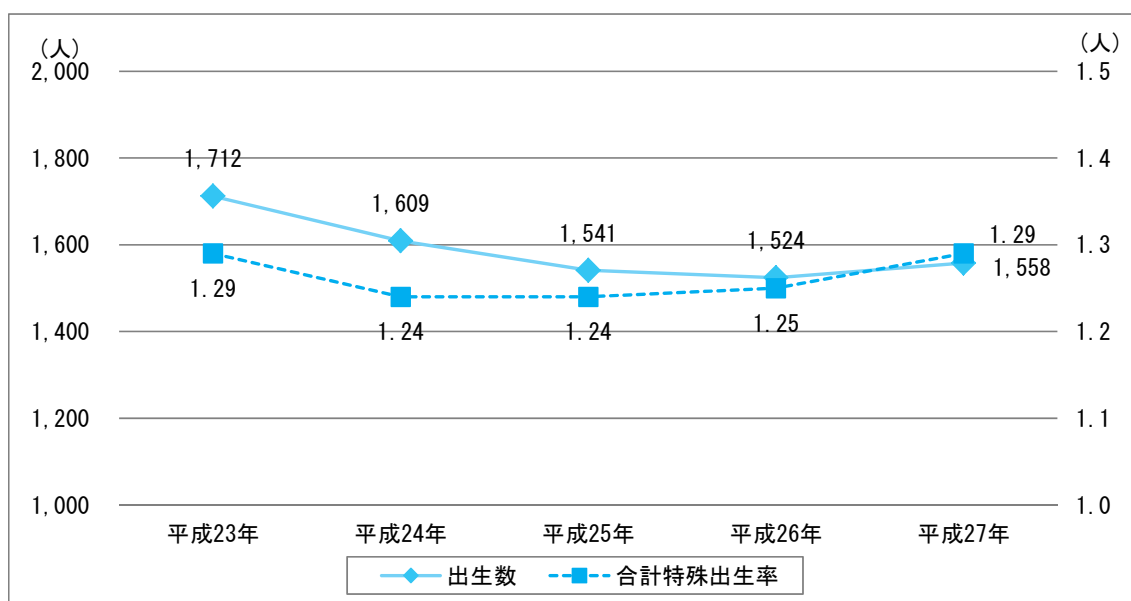
要介護 2 以上の介護を必要とする期間を表したもの。

2 出生と死亡の動向

(1) 出生数・合計特殊出生率の推移

西東京市の出生数は減少傾向にありましたが、平成 27（2015）年には微増し 1,558 人となっています。合計特殊出生率の推移は、平成 24（2012）年から 25（2013）年にかけて 1.24 と横ばいでしたが、平成 29（2017）年には 1.29 となり、微増しています。

図表 2-9 出生数・合計特殊出生率の推移



出典：出生数 人口動態統計

合計特殊出生率 北多摩北部保健医療圏保健医療福祉データ集

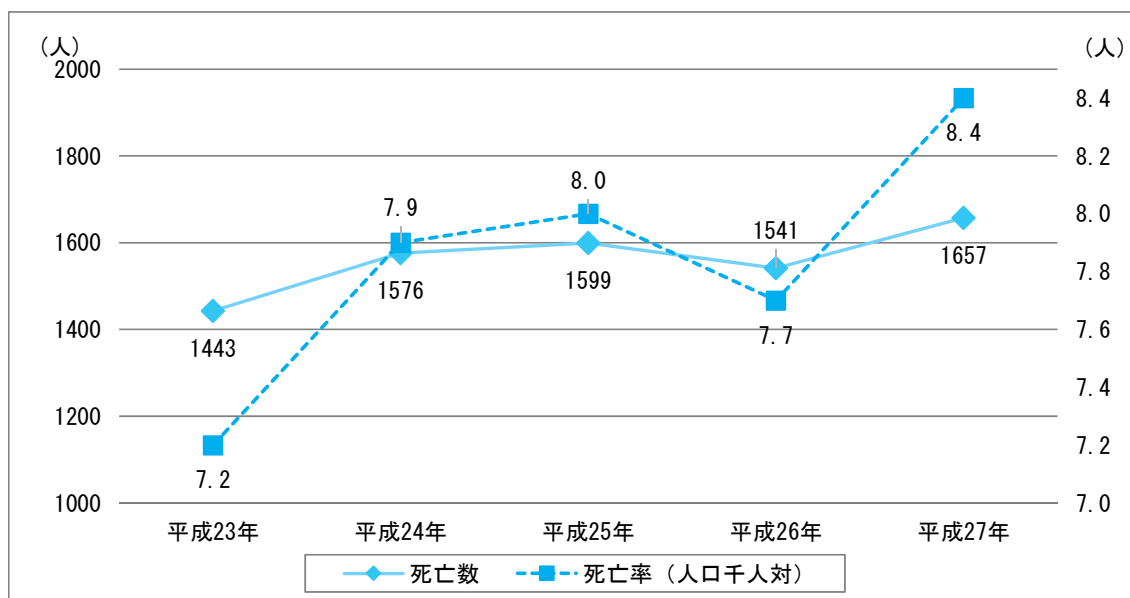
◆合計特殊出生率

15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年齢別出生率で一生涯の間に産むとしたときの子どもの数に相当する。

(2) 死亡数・死亡率（人口千人対）の推移

西東京市の死亡数は増加傾向にあり、平成27（2015）年には1,657人となっています。

図表 2-10 死亡数・死亡率（人口千人対）の推移



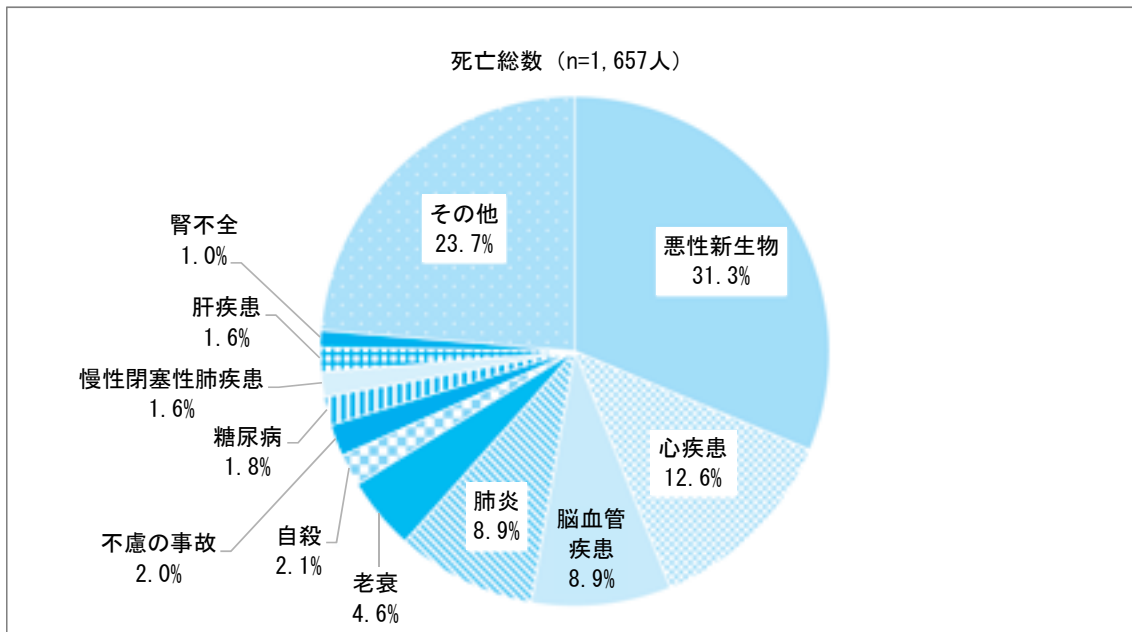
出典：人口動態統計

3 主な死因別死亡

(1) 死因別死亡割合

平成 27（2015）年における西東京市の主な死因としては、悪性新生物（31.3%）、心疾患（12.6%）、脳血管疾患（8.9%）の三大生活習慣病が約半数を占めています。また、肺炎（8.9%）も脳血管疾患と同じ割合となっています。

図表 2-11 死因別死亡割合



出典：人口動態統計（平成 27（2015）年）

(2) 主要な死因

西東京市における主要な死因は、平成 23（2011）年から平成 27（2015）年まで、「悪性新生物」が第 1 位、「心疾患」が第 2 位となっています。第 3 位、第 4 位は「脳血管疾患」または「肺炎」となっています。

図表 2-12 死亡数の多い主要な死因

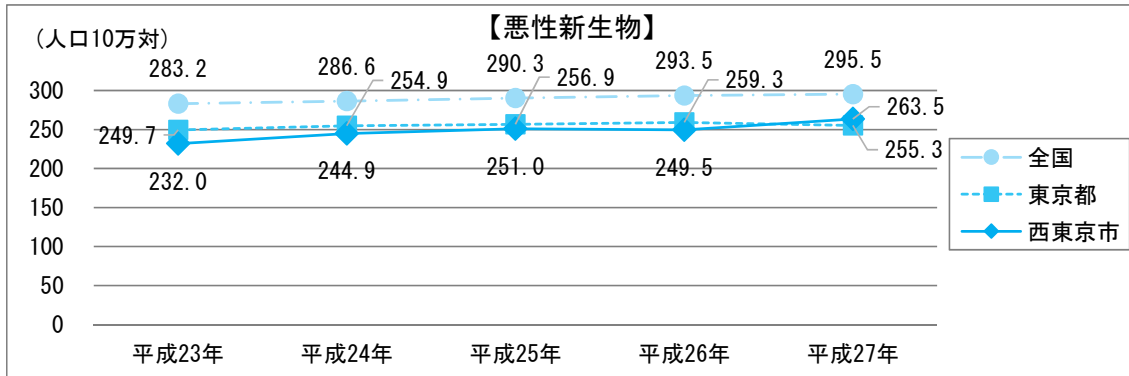
| | 平成 23 年 | 平成 24 年 | 平成 25 年 | 平成 26 年 | 平成 27 年 |
|-------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 第 1 位 | 悪性新生物 | 悪性新生物 | 悪性新生物 | 悪性新生物 | 悪性新生物 |
| 第 2 位 | 心疾患 | 心疾患 | 心疾患 | 心疾患 | 心疾患 |
| 第 3 位 | 脳血管疾患 | 肺炎 | 肺炎 | 脳血管疾患 | 脳血管疾患 |
| 第 4 位 | 肺炎 | 脳血管疾患 | 脳血管疾患 | 肺炎 | (3 位) 肺炎 |

出典：人口動態統計

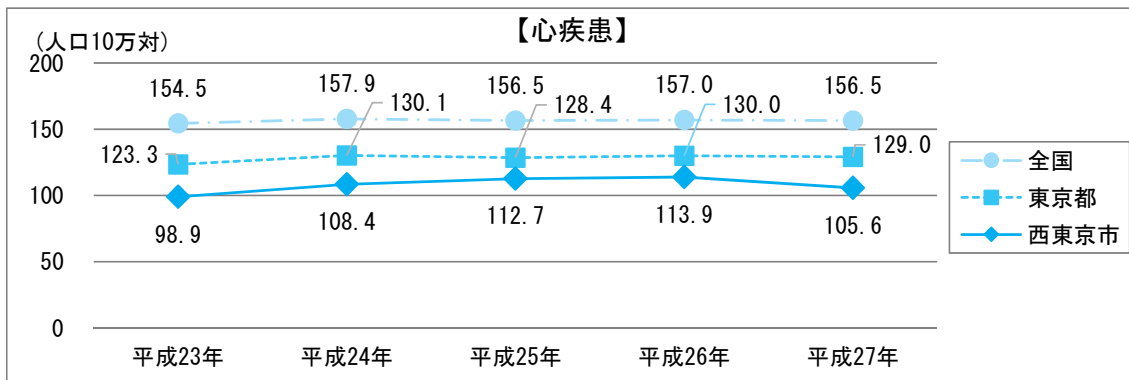
(3) 主要死因別の死亡率の推移（人口10万対）

西東京市の三大生活習慣病による死亡率は、いずれも全国平均より低く、悪性新生物は緩やかな増加、心疾患と脳血管疾患は横ばいの傾向にあります。

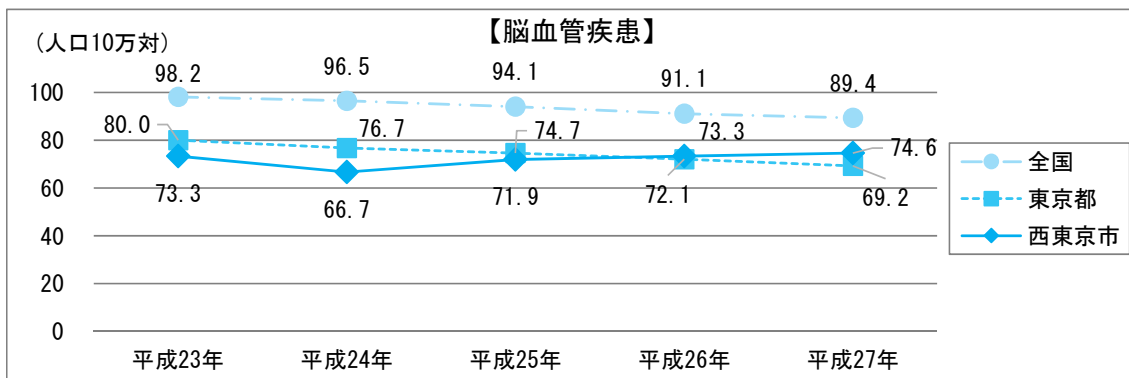
図表 2-13 悪性新生物による死亡率



図表 2-14 心疾患による死亡率



図表 2-15 脳血管疾患による死亡率



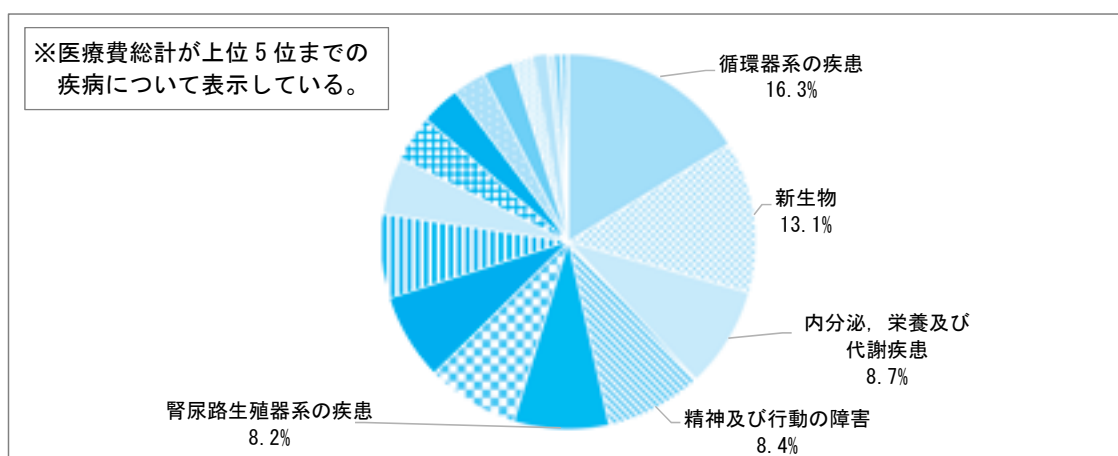
出典：北多摩北部保健医療圏保健医療福祉データ集

4 医療費の状況

(1) 疾病別の医療費の割合

平成 26（2014）年度の西東京市における国民健康保険加入者の、歯科を除く、疾病別の医療費の割合をみると、「循環器系の疾患」（16.3%）、「新生物」（13.1%）、「内分泌、栄養及び代謝疾患」（8.7%）が上位を占めており、合わせて約 4 割となっています。

図表 2-16 大分類による疾病別医療費の割合



出典：西東京市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

医科、調剤の電子レセプトのみ。対象診療年月は平成 26（2014）年 4 月～平成 27（2015）年 3 月診療分。

図表 2-17 疾病大分類別

| | 医療費総計が高い疾病 | 患者数の多い疾病 | 患者一人当たりの医療費が高額な疾病 |
|-----|--------------|--------------|-------------------|
| 1 位 | 循環器系の疾患 | 呼吸器系の疾患 | 精神及び行動の障害 |
| 2 位 | 新生物 | 消化器系の疾患 | 周産期に発生した病態 |
| 3 位 | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 内分泌、栄養及び代謝疾患 | 新生物 |

図表 2-18 疾病中分類別

| | 医療費総計が高い疾病 | 患者数の多い疾病 | 患者一人当たりの医療費が高額な疾病 |
|-----|----------------------------------|----------------------------|-----------------------|
| 1 位 | 腎不全 | その他の内分泌、栄養及び代謝疾患(脂質異常症等) | 腎不全 |
| 2 位 | 高血圧性疾患 | その他の急性上気道感染症(急性気管炎・急性副鼻腔炎) | 白血病 |
| 3 位 | その他の悪性新生物(前立腺がん・膀胱がん・甲状腺がん・喉頭がん) | アレルギー性鼻炎(花粉症・アレルギー性鼻炎) | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 |

出典：西東京市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

5 中間報告からの総合目標達成状況（進捗）評価まとめ

総合目標の達成状況は次のとおりです。

（1）健康で自立して生活できる期間を延ばすこと

（健康寿命の延伸）

介護保険における第1号被保険者のうち、「要介護」と認定された者の割合により算出した「元気な高齢者の割合」については、第1号被保険者は増加しているものの要介護者の増加率が高いことから、元気高齢者の占める割合が年々減少する結果となっています。

日本は、世界有数の長寿国であり、今後も平均寿命が延びることが予測される中で、いかに健康上の問題から日常生活が制限されることなく生活できる期間を延ばすかが鍵となってきます。

| 指標 | | 基準値 | 目標 | 現状 |
|---------------------------|----|--------|-----|--------|
| 元気な高齢者の割合 | | 87.4% | 上げる | 84.3% |
| 自分の健康状態を良いと感じる70歳以上高齢者の割合 | | 60.0% | 上げる | 61.1% |
| 65歳健康寿命 (要介護2以上) | 男性 | 82.83歳 | 上げる | 82.96歳 |
| | 女性 | 85.46歳 | | 85.43歳 |

（2）自分が健康であると感じられる市民が増えること

（主観的健康感の向上）

自分が健康であると感じている人は66.1%で、前回アンケートと同程度の割合となっています。

| 指標 | 基準値 | 目標 | 現状 |
|--------|-------|-----|-------|
| 主観的健康感 | 65.9% | 上げる | 66.1% |

(3) 子供が健やかに育つこと

総合目標である「子供が健やかに育つこと」に関しては、適正体重の子供の割合や自分の子供の健康状態が良いと感じている市民の割合は向上しており、また、自分のことを好きと思える（自己肯定感の向上）も一部の学年を除き、指標に掲げる目標を達成している状況です。

一方で、「子育て不安・悩みの有無」については、「不安や悩みがあった」「まあ不安や悩みがあった」と回答された方の合計は、全体の 74.4%でした。前回アンケート（71.6%）と比較し、2.8 ポイントの増加となっています。

| 指標 | | 基準値 | 目標 | 現状 |
|------------------------|---------|-------|-----|-------|
| 適正体重の子供の割合 | 小学4年生男子 | 80.2% | 上げる | 80.7% |
| | 小学4年生女子 | 83.4% | | 84.3% |
| | 中学1年生男子 | 81.4% | | 86.2% |
| | 中学1年生女子 | 67.5% | | 79.8% |
| 自分のことを好きと思える割合 | 小学4年生男子 | 65.2% | 上げる | 66.2% |
| | 小学4年生女子 | 69.2% | | 62.5% |
| | 中学1年生男子 | 43.9% | | 54.3% |
| | 中学1年生女子 | 41.8% | | 50.7% |
| 自分の子供の健康状態を良いと感じる市民の割合 | | 97.8% | 上げる | 98.0% |

(4) 健康な家族の形成を支援すること

西東京市の出生率は、平成 22（2010）年の基準値以降減少傾向でしたが、平成 27（2015）年は、対前年から 0.3 ポイント増加しました。

子育てしやすいまちだと思える人の割合は、前回アンケートと比較し、全体で 6.1 ポイントと大きく増加しています。

| 指標 | 基準値 | 目標 | 現状 |
|--------------------|-------|-----|-------|
| 出生率（人口千対） | 8.5% | 上げる | 7.9% |
| 子育てしやすいまちだと思える人の割合 | 44.0% | 上げる | 50.1% |